

町民の声



交通安全母の会
会長

松田 聖子さん
(朴山)

交通安全活動に携わって

長年、交通安全母の会に携わって「交通安全は家庭から」という基本理念を心から感じているところであり、会議等に出席した場合など皆さんに呼びかけをしています。交通安全は、交通マナーを守るという強い意志と自覚が必要だと思っております。交通事故には避けられる事故と避けられない事故があり、飲酒運転は絶対に避けられる事故ではないでしょうか。金山町から1人でも検挙者や、事故が1件でもないよう、これからも活動に力を入れていきたいと思っております。

内閣府の事業として東北ブロック大会が毎年開催されており今年は岩手県で開催され、山形県交通安全母の会の代表として参加して参りました。大会は、2日間で講演やグループ討議で、私は、交通ボランティアのグループ討議に参加し、東北6県の活動状況を聞き感じたことは、県によっては、行政、議会の協力が少ないところもあり、ど

のようにしたらもつと協力を得られるのか討議いたしました。私は「協力をいただくには、自分たち母の会が見える活動を行ないアピールし、交通安全の推進には欠かせない絶対必要な組織であることを理解してもらう必要があるのではないか」という意見を述べたところ金山町の取り組みを参考にさせていただくとのことでした。金山町交通安全母の会は、町長、議会、そして町民から惜しまないご協力とご理解をいただいております。感謝申し上げます。

これからは、夕暮れが早くなり歩行者が見えにくくなります。お出かけの際は、町で配布した反射材（命のバンド）を身につけて事故にあわないようにお気をつけいただきたいと思えます。

今後も母の会が丸となった活動を展開し、交通安全の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご協力とご指導よろしく願います。



交通安全母の会総会 (28年5月)

議会豆知識 No.6

● 政務活動費

2年前に兵庫県議会議員の不正により話題となった政務活動費について、今年に入り富山市議会議員が領収書の捏造や、禁止されている飲食代に使ったことが明らかとなり、議員が相次いで辞職し、補欠選挙をしなければならぬ事態となっております。また、山形県内でも県議会議員が辞職するなど全国的に注目されています。政務活動費とは、地方議会の議員が行う調査・研究などに必要な経費として議員報酬とは別に公費から支給されるものです。県内町村議会では、5町で月額5千円から1万円以内で交付されていますが、金山町を含む最上管内町村では支給されていません。また、町民の意向として昨年12月におこなった議会アンケートでは、「必要でない・わからない」と答えた割合は74%となっております。

12月議会定例会は12月7日(水)～12日(月)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

編集後記

今年も間もなく雪の時期を迎えようとしておりますが、歳を重ねるごとに、月日の流れが速く感じられるようになりました。この年齢と時間感覚の関係は「ジャーネーの法則」で50歳の人間にとつての10年間は5歳の人間にとつての1年間に当たり、5歳の人間の1日が50歳の人間の10日に当たることになる。と説明されています。

今から30年前や40年前を思い浮かべると、当時の気象や米価等の金銭感覚、高齢者の定義など、近年とは大きく異なっていて、それぞれの良し悪しは、一概には判断できませんが、「継往開来」「不易流行」を念頭に、今後も「四季奏でる町」について、皆さんの経験談や意見をお聞きしながら、町の未来を考えたいと思えます。(文責 中村 忠行)

発行責任者

◆ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

◆ 委員長 沼澤 道也
◆ 副委員長 中村 忠行
◆ 委員 高橋 芳夫
高橋 浩樹
早坂 憲明

* * * * *